

事業所名

コアヴィレッジ芝公園

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

3月

14日

法人（事業所）理念		私たちは、子どもたち、家族、地域社会の生活を豊かにします。							
支援方針		「光る原石（子どもたち）を大切に包みこみながら、磨きあげていくこと」それが理念です。一人ひとりに寄り添い、それぞれの個性を大事にしながらサポートをしていきます。現代のデジタル化に対応した、新しい教育が特徴です。授業にはタブレットやモニターを導入。子どもたちの苦手の分野を無理やり改善するのではなく、強みを最大限に引き出す環境を整えました。							
営業時間		10時09分	00分	19時18分	00分	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	ご家庭での生活、保育園・幼稚園・学校などの集団生活、そして、その後続く社会生活へと成長段階に応じて必要となるスキルは発展していきます。そのスキルをコアヴィレッジの教室の始まりから終わりまでのすべての活動の中で、つながりをもたせ発展出来るように支援します。例えば、基本的な生活習慣である「あいさつ」や道具の使い方から「片付け」等を身に着けることにより主体的に行動できるように支援します。							
	運動・感覚	協調運動の発達や自分の身体のコントロール方法をあらゆる角度から学ぶ運動療育を取り入れ、自己肯定感の高まりやストレス発散にも役立つ療育取り入れていきます。運動療育は、身体的な活動を通じて心身の発達を促進する教育的な取り組みです。特に発達障害や運動機能に課題を持つ子どもたちに対して、専門的な支援を行います。運動を用いることで、子どもたちの運動能力の工場はもちろん、社会性や自己表現のスキル向上、感覚統合の促進など総合的な発達支援を目指す事が出来ます。また、ボルダリングのクライミングの動作を通じ、筋力強化、柔軟性、体幹の安定性を向上します。							
	認知・行動	学習方法研究者の五藤博義氏（元ベネッセコーポレーションニューメディア研究所長）の監修による『脳バランサーキッズ』には13種類のゲームがあります。この楽しいミニゲームを行うだけで、お子様の認知機能を測定しお子様の得意や苦手を分析できます。この測定結果をもとに、お子様一人ひとりの発達の特性、偏りに合わせた支援を行います。『脳バランサーキッズ』の「しかくたんざく」では、数唱しながら取り組むことで、順序としての数に親しみ、「ブロック」では、積み重なったブロックの数を数え、量としての数を理解することが出来ます。『すてむぼっくす』（STEAM療育：物理やエンジニアリング・プログラミングを学ために開発された教材）を利用することにより、空間認知能力・指示をとる能力の向上を図ります。その他、切り替えが難しいお子様には、タイムタイマーを取り入れることで、時間間隔を養い、活動と休み時間の切り替えや帰りの支度など、場面の切り替えがスムーズに出来るように支援します。							
	言語コミュニケーション	『脳バランサーキッズ』の「はじめのもじ」「ことば」なドンお言葉のタスクをなぞなぞやゲーム感覚で楽しみながら語彙を増やし、「ききことば」「わたしはだれ？」などのタスクでは2語文、3語文と問題が少しずつ複雑な構造になる仕組みから文を理解する力や言葉を聞き取るトレーニングにもなります。『すてむぼっくす』を通じ、支持の理解できるようになり、友達との協力することを学ぶこともできます。							
	人間関係社会性	『すてむぼっくす』を利用することで、わからないときに助けを求め、間違いや問題があった時に対処できる能力の向上を図ります。また、遊び感覚でトレーニングできる『大画面タッチパネル』を導入し、認知アセスメントや集団トレーニングに使用します。個別または小集団でのゲーム、活動を通して待つ、譲る・聴く・話す・守る・相手の気持ちを想像する等の社会的コミュニケーション能力を身に着けられる環境を提供します。その他、集団遊びやごっこ遊びなどを通じ、マナーやルールを守ったり役割分担をするなど協働遊びの基礎を学びます。							
家族支援		毎回の支援内容やお子様のご様子をHUGを通じてご報告します。その他にも必要に応じてお子様の様子を見学したり、相談支援の機会を設けて、子育ての不安や悩みを軽減するお手伝いをします。				移行支援		保護者等のご要望があれば学校と連携を取り、こちらの支援内容やお子様の様子など情報を共有し、すり合わせを行い、一貫した支援が行えるように配慮します。	
地域支援・地域連携		地域の連絡会等に参加し、制度及び支援についての情報交換を行います。各児童の所属する他児童発達支援や利用する相談支援事業所に対し、定期的な情報共有として、モニタリング資料の共有を行います。支援上の課題がある場合には、園や学校、関係機関とのケース会議を提案・実施して参ります。				職員の質の向上		新入社員や中途採用者を対象とした研修を随時行います。『脳バランサーキッズ』の使用方法や結果の分析方法など五藤先生から1回/月の研修をいただいております。その他、年間研修として自社研修担当者による研修（虐待防止・身体拘束防止・感染症予防・非常災害・プライバシー保護・セクハラ・パワハラ・マタハラ・ホスピタリティ）を実施しております。	
主な行事等		毎月の季節に応じた（お正月・バレンタイン・節分・ひな祭り・ホワイトデー・子どもの日・七夕・夏祭り・ハロウィン・クリスマス）変化に興味を持てるようなイベントや自己表現のための創作活動、5領域の伸長に資するような運動や体験を提供していきます。							